


# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年 2月23日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 安芸太田町 所在地 : 広島県山県郡安芸太田町戸内 784-1 TEL/FAX : TEL 0826-28-1961 FAX 0826-28-1218 担当者 : 小笠原文彦 メールアドレス : f.ogasawara253@akiota.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h1 style="color: red;">5 4</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
安芸の国の行列のできる名水にふれる旅 平成の名水百選「八王子よみがえりの水」、天上の明水汲み取りトレッキング	広島県	奥安芸
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
平成の名水百選に選ばれた「八王子よみがえりの水」や、硬度4mgの超軟水「天上の明水」など、豊かな自然にはぐくまれたおいしい水にスポットをあてます。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )	
【旅の目的】	広島県の北西部に位置する奥安芸は、太田川の源流に位置し百万都市広島の水源地域です。安芸の宮島から1時間15分のその地におもむき命の水が湧き出る聖なる泉を知り、そのおいしさを知ることで環境保全の意識向上や、奥安芸地域のファンになってもらうことを目的とします。また、それぞれバスでは源泉まで入りづらいことからトレッキングの要素も加え、歩いて健康・飲んで健康・食べて健康な旅を目指します。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 平成22年6月30日)	【催行人員】 25名 (最少催行人員: 10名)
【原価】	内訳	
	昼食代 田舎豆腐料理 1,200円 入浴料 450円 その他交通費、添乗費など	
【販売価格】	5,000円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有 ( 円/1名 ) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
太田川源流域の奥安芸には、国の特別名勝三段峡や八幡湿原といった自然の景勝地が多いところですが、「水」をキーワードにした旅行はこれまでにありません。源泉付近の道の狭さや秘境感あふれるかくれ里を逆手にトレッキングの要素も加えたヘルスツーリズムにも通じる旅です。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 株式会社フジトラベルサービス / 旅行企画、販売、実施	⑤ 株式会社簡賀総合サービス / 現地見学受け入れ	
② 北広島町企画課 / 旅行企画立案	⑥ /	
③ 安芸高田市商工観光課 / 旅行企画立案	⑦ /	
④ 広島県観光連盟 / オブザーバー	⑧ /	
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	広島駅 (9:00) → 千代田 IC (10:00) → 平成の名水百選「八王子よみがえりの水」トレッキング (10:10~11:10) → 道の駅舞Road IC千代田 (買い物, 11:20~11:40) → 千代田 IC (11:40) → 戸内 IC (12:10) → 龍頭ハウス (昼食/12:20~13:00) → 天上の明水製造所見学、龍頭峡散策 (13:10~14:40) → 天上の明水汲み取り所、龍頭ハウス入浴 (14:40~15:30) → 道の駅来夢とごうち (買い物, 15:40~16:00) → 広島駅 (17:00)

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
<b>【コメント】</b> 平成の名水百選「八王子よみがえりの水」 本地、八王子神社に湧き出る水は神様の水と知られています。歴史の中で一度は、忘れられていましたが、古を知る地元の人が力を合わせて、よみがえらせたのが「八王子よみがえりの水」です。「平成の名水百選」に認定され、平日でも水汲みの人があつとを絶たず、休日ともなると長い列ができます。	<b>【コメント】</b> 道の駅舞Road IC千代田 北広島町の特産品がたくさん道の駅です。毎朝とりたての新鮮野菜が並び、ふるさとの土産が手に入ります。バスの待合室としてはもちろん、町内散策やドライブの途中にお気軽に立ち寄りお休み頂けます。	<b>【コメント】</b> 龍頭ハウス 白いペンション風のシャレたウッディな建物でご利用に応じた各部屋があります。(宿泊定員50名)温泉はラドン泉、ハイキング・バーベキュー・木工陶芸・テニス・ゲートボール等、四季を通じて自然のふれあいが楽しめます。龍頭峡の渓谷や森林館、木工芸館に近く遊び心満点の宿です。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
<b>【コメント】</b> 天上の明水製造所見学 山の中腹にありながら、日照り続きの年でも決して枯れることなく水が湧き、まろやかな口当たりで評判の名水になりました。樹齢300年を超えるもみの木などが群生し、太古の風景が広がる「悠久の森」を始めとする豊かな大自然が、「天上の明水」のおいしさを育てています。平成13年8月より製造販売を開始した工場を見学します。	<b>【コメント】</b> 龍頭峡二段滝 三谷川の上流にある名峡で、清流と緑と岩々が見事な景観をくり広げ、広島県の自然環境保全地域に指定されています。峡内には、二段滝、奥の滝、ナメラ滝、追森の滝、引き明けの森などの名所があり、新緑や紅葉に染まりながらハイキングや森林浴が楽しめます。	<b>【コメント】</b> 天上の明水汲み取り所 龍頭峡入口に整備された水汲み場。天上の明水ミネラルウォーターの元となる名水を無料で持ち帰る事ができます。お茶、コーヒーなどに利用すると、素材の風味を引き出して、より一層おいしくいただけますと好評を得ています。



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月 24日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 米子市観光協会 所在地 : 〒683-0822 鳥取県米子市中町20番地 市役所旧庁舎2階 TEL/FAX : TEL 0859-37-2311 FAX 0859-37-2377 担当者 : 福原(ふくはら) メールアドレス : fukuhara.yonagokanko@hotmail.co.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <b>5 5</b>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
『「美水の郷」ウォーク』 「名水料理を味わう歩き旅」	鳥取県	「美水の郷」 (米子市・大山町、及び周辺地域)
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
鳥取県大山山麓は、古代からブナの森に蓄えられ流れ出す良質の水が豊富にあります。これらの「水」、そして水から創られる「食」は、人々の体をつくり、また心身を癒す源となっています。		
【日程】	①. 日帰り ②. 一泊二日 ③. 二泊三日 ④. その他 ( )	
【旅の目的】	①名水の地を訪ね、水に触れ、せせらぎを聞き、心を癒します。 ②名水の地ならではの「食」を味わい、体の中から美しくなります。 ③名水を育んだ地を歩き、心と体の健康を維持します。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 4月~6月)	【催行人員】 35名 (最少催行人員: 2名)
【原価】	内 訳 屋食代¥1,100- / 「よなごの水」ペットボトル¥105- / 送迎代¥200- (25名参加時の1人あたり) 保険料¥210- 1,615円 (大人1名)	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 ( 円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
①環境庁選定「名水百選」の一つである「天の真名井」を訪れます。 ②日本最大級の弥生集落遺跡を見学します。 ③昼食には、清らかで冷たい水でしか育たない「梅花藻」を取り入れた特別メニューをお召し上がり頂きます。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
①	/	⑤ /
②	/	⑥ /
③	/	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	09:00 JR 米子駅集合 JR 山陰線普通列車にて JR 淀江駅へ 09:50 JR 淀江駅出発(徒歩)~妻木晩田遺跡 ~ 天の真名井 ~ 「真名井」(昼食) 13:30 【早帰り組】送迎バスにて JR 淀江駅へ (JR 淀江駅にて解散) 各自 JR にて帰途へ。 【ゆっくり組】徒歩にて「白鳳の里」へ。「ゆめ温泉」入浴。 15:20 送迎バスにて「白鳳の里」から JR 淀江駅へ (JR 淀江駅にて解散) 各自 JR にて帰途へ。	
2日目		
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】妻木晩田遺跡	【ポイント2】妻木晩田遺跡からの眺望	【ポイント3】天の真名井
		
【コメント】 復元された竪穴式住居の骨組み	【コメント】 遺跡から日本海の眺め。 弓ヶ浜半島と島根半島を一望できます。	【コメント】 季節を問わず、澄んだ水が湧き出ています。 傍には水車もあり、趣ある空間となっています。
【ポイント4】食事処「真名井」	【ポイント5】昼食	【ポイント6】
	観光箇所の画像など添付	観光箇所の画像など添付
【コメント】 昼食は天の真名井にほど近い、その名も「真名井」にて、『真名井ばあちゃんの きまぐれ「美水の郷」特別メニュー』をいただきます。その日手に入った新鮮な地元の食材を使用しています。		【コメント】



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月 24日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 米子市観光協会 所在地 : 〒683-0822 鳥取県米子市中町20番地 市役所旧庁舎2階 TEL/FAX : TEL 0859-37-2311 FAX 0859-37-2377 担当者 : 福原(ふくはら) メールアドレス : fukuhara.yonagokanko@hotmail.co.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h2 style="color: red; font-size: 2em;">5 6</h2>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】																
『「美水の郷」ウォーク』 「元オリンピック日本代表選手と一緒に歩くノルディックウォーク」	鳥取県	「美水の郷」 (米子市・大山町、及び周辺地域)																
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 鳥取県大山山麓は、古代からブナの森に蓄えられ流れ出す良質の水が豊富にあります。これらの「水」は私たちの心身の健康を維持する重要な要素です。																		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他( )																	
【旅の目的】	① 名水の地を訪ね、水に触れ、せせらぎを聞き、心を癒します。 ② 手軽にできる全身運動であるノルディックウォークを体験し、健康維持に役立てます。																	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 4月~5月)	【催行人員】 50名 (最少催行人員: 2名)																
【原価】	内訳 「よなごの水」ペットボトル¥105- / ポールレンタル料¥500- / 保険料¥210-																	
【販売価格】	815円 (大人1名)	有 ( _____ 円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)																
【旅行企画のセールスポイント】	① 環境庁選定「名水百選」の一つである「天の真名井」と、大手飲料メーカーが清涼飲料水の原料として採用した「本宮の泉」をおとずれます。 ② 元オリンピック日本代表選手が、ノルディックウォークを直接指導します。 ③ 日本の原風景とも言える田園風景、中国地方最高峰・大山の美しい姿、穏やかな日本海を眺めながら歩きます。																	
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>/</td> <td>⑤</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>/</td> <td>⑥</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>/</td> <td>⑦</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>/</td> <td>⑧</td> <td>/</td> </tr> </table>		①	/	⑤	/	②	/	⑥	/	③	/	⑦	/	④	/	⑧	/
①	/	⑤	/															
②	/	⑥	/															
③	/	⑦	/															
④	/	⑧	/															
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —																	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —																	
【特記事項】																		

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	12:10 JR 米子駅集合 JR 山陰線普通列車にて JR 淀江駅へ 13:00 JR 淀江駅出発(徒歩) ~ 天の真名井 ~ 本宮の泉 ~ 白鳳の里 16:30 【早帰り組】 徒歩にて JR 淀江駅へ (JR 淀江駅にて解散) 各自 JR にて帰途へ。 【ゆっくり組】 白鳳の里、「ゆめ温泉」入浴。 18:00 送迎バスにて「白鳳の里」から JR 淀江駅へ (JR 淀江駅にて解散) 各自 JR にて帰途へ。	
2日目		
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】 天の真名井	【ポイント2】 本宮の泉	【ポイント3】 コース①
		
【コメント】 1回目の休憩ポイント。澄んだ水が湧き出ています。傍には水車もあり、心なごむ空間を演出しています。	【コメント】 2回目の休憩ポイント。日量 30,000 トンを誇る名水です。	【コメント】 JR 淀江駅~天の真名井の道。のどかな田園風景の中を大山(写真中央)を眺めながら歩きます。
【ポイント4】 コース②	【ポイント5】	【ポイント6】
	観光箇所の画像など添付	観光箇所の画像など添付
【コメント】 本宮の泉付近の道。大山が最も美しく見えるポイントです。	【コメント】	【コメント】



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年2月26日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 津和野町観光協会 吉賀町観光協会 所在地 : 島根県鹿足郡津和野町後田 (代表・津和野町観光協会) TEL/FAX : TEL 0856-72-1775 FAX 0856-72-1191 (代表・津和野町観光協会) 担当者 : 齊藤謙一・金子成一郎 (代表・津和野町観光協会) メールアドレス : k-saito@tsuwano.net s-kaneko@tsuwano.net 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">5 7</div>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
清流高津川の恵みとふれあう旅 ~清流とともに生きる人々~ 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 高津川は、国土交通省1級河川水質ランキングで2007・2008年全国第1位に選ばれました。1級河川としては日本で唯一支流を含めダムが一切ないという貴重な川でもあります。	島根県	鹿足郡高津川流域

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )

【旅の目的】 ① 高津川の水系とそれに関わる人々の生活・文化を感じていただく。  
 ② 地産地消に徹した郷土料理を食べていただく。  
 ③ 水の観光地になんだ伝説・民話を紹介しながら、地域への理解を深めてもらう。

【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 7・8・9・10・11月) 【催行人員】 8名 (最少催行人員: 8名)

【原価】 39,800円~ (大人1名)  
 内訳  
 ・車代: ¥12,250 (¥98,000÷8名) ・JR代: ¥200  
 ・宿泊費 (2食付・2名1室): 1日目¥9,700 2日目¥8,925  
 ・入場ガイド費: 1日目¥800 2日目¥2,500~ 3日目¥125  
 ・昼食代: 2日目¥1,300~ 3日目¥4,000

【販売価格】 円 大人1名 【子供料金】 有 (円/1名) ・無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

- ・高津川は、国土交通省の全国1級河川の水質調査で2007・2008年全国第1位に選ばれています。
- ・吉賀町は、コウヤマキ天然林をはじめ貴重な植物が多く保全と観光の形態開発に町民主体で取り組んでいる事例を組み入れています。
- ・天然あゆなど季節毎の食産物は豊富です。時期による食事のバリエーションを持たせることが可能です。
- ・津和野町日原は、「環境省・2008 全国星空継続観測の写真判定」で全国第2位、「環境省後援・2008 全国星空の町コンテスト」で天の川賞をそれぞれ受賞しており、日原天文台での天体観測はおすすです。(2日目の夜に設定)
- ・水の恩恵を受けている津和野町の観光地も含めた事で、単なるエコツアーでない付加価値を付けました。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① たんぽぽの会 (民間団体) / コウヤマキ自生林のガイド開発	⑤ 野中里山倶楽部 (民間団体) / 郷土薬膳料理の開発・提供
② NPO 法人エコレヅジかきのきむら / 体験ガイド開発・提供	⑥ 津和野町 / 後援
③ 日原自然の会 (民間団体) / 観光ガイド開発	⑦ 吉賀町 / 後援
④ 津和野ボランティアの会 / 津和野ガイドの実施	⑧ /

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【特記事項】  
 ・募集人員・最少催行人員は、ツアー催行率を上げる為、サービス満足度向上の為低く設定しました。  
 ・食事については、いずれも子供料理で対応可能です。(子供料金の場合)  
 ・JR津和野駅とJR新山口駅間は、2010年度は3月20日~11月21日の間、曜日限定ですが、SL『やまぐち』号が運行しておりインパクトある素材としてコラボも有効です。  
 ・エコレヅジかきのきむらでの体験は、料理内容によって講師・食材が異なるため料金は若干ですが流動的です。  
 ・雨天時でも全体の催行には支障はありません。(ただし荒天時や川が増水している場合は多少の変更が必要です)

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】

1日目	JR津和野駅 == 水源公園・水源会館 == コウヤマキ自生林 (県自然環境保全地域) == 12:30 13:50 14:30 14:45 16:00 ガイド説明あり ガラリー展示室と自然観察路の案内があります == 旧道面家住宅 (国の重文指定) == むいかいち温泉 (泊) 宿泊: ゆ・ら・ら 16:10 16:25 16:30 夕食: 特産品を使った和会席
2日目	吉賀町 (宿) == エコレヅジかきのきむら == 大井谷・棚田 == 国道187号 (高津川沿い) == 8:30 9:00 (昼食) 13:30 13:45 14:05 食材の調達から調理試食までのガイド 水の伝説に関わる日原の観光地めぐり == 「軍馬谷と御殿岩」「千谷尋の滝・小千谷尋の滝」 == 津和野町 (泊) 宿泊: ペンション北斗星 14:40 17:00 夕食: オナーシェフ自慢の洋風コース料理 ※夕食後、隣接した日原天文台で天体観測をお楽しみ下さい。
3日目	各駅列車 (山口線) JR日原駅 // // // // JR津和野駅 ・津和野観光 (殿町通り・乙女峠マリア聖堂・太鼓谷稲荷神社) == 8:06 8:18 8:30 11:50 支流津和野川と田園風景を車窓見学 == 糸川縄文の館 == JR津和野駅 12:15 (昼食) 13:20 14:00 ※運航日によっては、SL『やまぐち』号も乗車可能

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】 清流高津川の水源地。島根県の名水百選に選定されている大蛇ヶ池と樹齢1,000年以上といわれる県の名樹百選の本杉があります。この杉は出雲神話で有名なヤマタノオロチ伝説もあります。季節毎の自然の姿も楽しめる水系を知る上で欠かせないスポットです。ガイド説明あり。</p>	 <p>【コメント】 エコレヅジかきのきむら。2005年7月設立。有機農業を原点とした自然環境や食、健康に関わる新たな地域産業づくりを主とした目的で廃校の旧校舎を利用して活動している。地域の特性を生かした地域の人で創る体験プログラムを提供しています。</p>	 <p>【コメント】 日本の棚田百選・大井谷の棚田。室町時代から江戸時代にかけてつくられた棚田が600枚以上も残っています。現在は地元住民が「助はんどうの会」を立ち上げこの資源を生かした地域づくりを進めています。人の手で積み上げた石垣風景は町の貴重な財産のひとつです。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】 千谷尋の滝・小千谷尋の滝。支流、鍛冶屋谷川の中流にある数々の伝説や言い伝えのある神秘的な滝です。近年展望台や遊歩道が整備され私たちの目の前にその神秘的な姿を現しました。</p>	 <p>【コメント】 支流津和野川の水が流れる堀割に鯉が泳ぐ風景で有名な殿町通り。山陰の小京都・津和野の象徴として景観の保存に力を入れて取り組んでいます。初夏の頃には白や紫の花菖蒲が咲き乱れます。</p>	 <p>【コメント】 農家レストラン『縄文の館』。地元で採れる山菜や薬草さらに高津川水系で採れる魚介類を使ったこだわりの薬膳懐石料理を提供します。店内も囲炉裏があつたり雰囲気もおすすです。また器は予約が入ってから地元の竹を使って手作りしています。</p>



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月15日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 萩市観光課 所在地 : 萩市江向510 TEL/FAX : TEL0838-25-3139 FAX0838-26-0716 担当者 : 中村和也 メールアドレス : 1480@city.hagi.lg.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h1 style="color: red;">58</h1>
--	---

<b>【タイトル/サブタイトル】</b> 水と暮らした萩の旅～ぶらり萩あるき～ <b>【活かそうとしている「水」の特性・特徴】</b> 萩を流れる阿武川の上流は、大正12年に国指定の名勝となった景勝地で、美しい渓谷が印象的な長門峡があり、訪れるものを癒してくれる。阿武川の下流は、松本川と橋本川の支流となり三角州を形成している。その三角州を中心に発達した毛利36万石の城下町萩。生活には三角州内を2.6kmにわたって緩やかに流れる藍場川があり、水と暮らした面影が今なおその姿をとどめている。また、松本川と橋本川沿岸の情景を江戸時代より萩八景とよび、今も素晴らしい景観を残している。	<b>【都道府県名】</b> 山口県	<b>【観光地域名】</b> 萩市
<b>【日程】</b> 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )	<b>【旅の目的】</b> 古より水と暮らしてきた萩を体感していただくこと。	
<b>【実施時期】</b> 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: )	<b>【催行人員】</b> 2名 (最少催行人員: 2名)	内訳 遊覧船乗船代 1,200円, 文化財施設1日券 300円, 萩元気食堂 490円, 萩焼体験料 2,000円, 宿泊料 17,850円～, 2日目昼食代 1,800円
<b>【原価】</b> 23,640円 (大人1名)	<b>【販売価格】</b> 円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	<b>【子供料金】</b> 有 ( 円/1名 ) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
<b>【旅行企画のセールスポイント】</b> セールスポイント① 水の都である萩の景観を川から海から楽しむ萩八景遊覧船に乗船。 セールスポイント② 川の水を屋敷内に引き入れて流水式の池泉庭園を造り、池から出た水を家の中に作られたハトバで家庭用水として使った後、再び川に戻すなど川沿いの民家として典型的な水の利用をみることが出来る藍場川を散策。 セールスポイント③ 淡水魚と海水魚が同居する不思議な明神池を散策。 セールスポイント④ 大正12年に国指定の名勝となった景勝地で、美しい渓谷が印象的な長門峡を散策。 セールスポイント⑤ 萩の水で作られた萩産野菜のバイキングレストラン、阿武川の恵を味わうことのできる食堂での昼食を味わう。		
<b>【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】</b>		
① 社団法人萩市観光協会 / 総合窓口	⑤ /	
② /	⑥ /	
③ /	⑦ /	
④ /	⑧ /	
<b>【催行日程】</b> — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	<b>【観光ポイント】</b> — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
<b>【特記事項】</b>		

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	10時(萩八景遊覧船)⇒11時(萩城下町・菊ヶ浜)⇒12時昼食(萩元気食堂)⇒13時30分(藍場川散策・旧湯川家屋敷・桂太郎旧宅)⇒16時(萩焼き体験)⇒宿泊(雁島別荘 or 常茂恵)
2日目	9時(明神池・風穴)⇒9時30分(笠山展望台)⇒11時(道の駅/萩しーまーと)⇒12時30分昼食(山水)⇒14時00分(長門峡)
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】水の都「萩」の景観を水辺から遊覧する「萩八景遊覧船」が、今年も3月から11月まで運航。遊覧コースは指月橋を始点に、疎水を通り、常盤島経由で橋本川本流に入り、堀内伝建地区内・平安古伝建地区内の武家屋敷群を川から眺める約40分の往復ルート。天候の良い日には、指月山や鏡眼土壟や萩城跡潮入門跡・白砂青松の菊ヶ浜を、海から眺めるルートもプラス。</p>	 <p>【コメント】藍場川は、もともと農業用水、家庭用水や防火用水として利用されていたものを、延享元年(1744)6代藩主毛利宗広により川舟が通れるように開削され、薪や炭などの物資の運搬に利用された。川端に藩営の藍場ができたため川が藍色に染まり、いつの間にか藍場川と呼ばれるようになったといわれる。川沿いは歴史的景観保存地区に指定されている。</p>	 <p>【コメント】旧湯川家屋敷は、藍場川沿いにある藩政時代の武家屋敷で、川沿いに長屋門があり、屋敷の中には橋を渡って入る。川の水を屋敷内に引き入れて流水式の池泉庭園を造り、池から出た水を家の中に作られたハトバや風呂場で家庭用水として使った後、再び川に戻している。このように藍場川沿いの民家では環境問題に配慮した水の利用法を見ることができ、しかもその技術が優秀である。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】笠山と本土が砂礫の堆積で陸続きになったときに埋め残されてきた池が明神池である。地下から海水が入り込んでいるため潮の干満が見られ、池の中では地元の漁師によって奉納された魚が繁殖し、マダイ、インダイ、ボラ、エイ、コチ、スズキなど、様々な近海の磯付き魚が泳ぎ天然の水族館とも呼ばれる。</p>	 <p>【コメント】萩で育った野菜を使った野菜バイキングレストラン、その名も「萩元気食堂」。萩の綺麗な水で育ったお米は絶品。490円と格安の価格で、お替りが自由。お昼時には多くのお客で賑わう。</p>	 <p>【コメント】長門峡は山口県を代表する渓谷で、大正12年(1923)に国の指定の名勝となった景勝地。阿武川の中流に展開する巨岩、奇石、急流、瀑布、深淵が周辺の植物と一体となって美しい渓谷をかもしている。全国約30の著名な渓谷にリストアップされており、国および県の「名勝及び天然記念物」に指定されている。</p>



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 株式会社 HAKKL 所在地 : 東京都港区南青山2-4-15 TEL/FAX : TEL 03-5786-7143 FAX 03-5786-7148 担当者 : 波佐本 由香 メールアドレス : y.hazamoto@hakk1.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h1 style="color: red;">59</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
吉野川の源流・食の探訪・青空キッチン	徳島県・高知県	○祖谷峡谷 (吉野川源流)
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		○嶺北地域 (吉野川源流)
○吉野川源流地域の食文化 ○おいしい食材を育む源流環境 ○山を守り、おいしい食材を育ててきた人々		

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )

【旅の目的】 テーマは、「流域の旅」。漁師や農家と一緒に、下流から上流まで一緒に訪れる流域の旅です。単に現地を見るのではなく、その土地にこだわって生きている人々と共に旅するから始めて見える本物の食材があります。目の前に集まった魚や農産物、畜産物に、訪れたシェフたちの心は躍ります。迎える地域の人々は、都会から訪れる本物の食の技を楽しみ、これを契機とした相互の交流を誘発します。

【実施時期】 春(夏・秋・冬・通年 / (実施時期: ) 【催行人員】 12名 (最少催行人員: 10名)

【原価】	現地の場合 約25,500円	交通費: 8,000円 観光タクシー利用 (一部JR土讃線を利用) 東京発着は+約30,000円 大阪発着は+約17,000円 宿泊費: 8,000円 (1泊夕・朝食込) プログラム参加費: 昼食代・2,000円 夕食代・1,500円 コーディネート代・6,000円
	東京発の場合 約55,500円 大阪の場合 約42,500円 (大人1名)	

【販売価格】 円 大人1名 【子供料金】 有 ( 円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

テーマ : 吉野川源流の環境、源流が育んだ食材、源流が培った暮らしの文化を堪能する。  
 ターゲット : シェフ、料理人、料理教室の生徒など、料理に関心を持つ人々  
 旅の楽しみのポイント : 吉野川河口で漁をしているカリスマ漁師・村公一氏が食のツアーをコーディネート。(上下流の繋がり) 東洋文化研究者アレックス・カーが有名にした茅葺き屋根の旧家のまわりで、自分の時間を楽しむ。農家さんたちとのふれあいを通じて、源流地域で暮らす知恵、農業・酪農へのこだわりを知る。  
 プログラムのハイライト: 自ら畑で食材を探し、自らの料理の技術で地物の食材を楽しむ。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

①(株) HAKKL/プロジェクトのプロデュース	⑤NPO法人れいほく活性化機構/源流地域の人材コーディネート
②漁師 村公一 /プロジェクトのディレクション	⑥ /
③山下農園 /源流地域で有機野菜および遊び場所の提供	⑦ /
④腕庵トラスト /源流地域で食文化体験プログラムの提供	⑧ /

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】

○村公一: 鳴門の漁師。「村さんの鮎(すずき)」は、漁の仕方、魚のしめ方で高い品質を保ち好評なことから『情熱大陸』にも(毎日放送制作・TBS系列)で紹介された。  
 ○アレックス・カー: 東洋文化研究者。『美しき日本の残像』ほか著書多数。京都の町屋再生事業、講演、執筆、コンサルティング事業も手がける。

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	09:00 徳島空港集合・出発 車移動 11:00 阿波池田駅着: ローカル線の旅体験 阿波池田駅 11:22 発一大歩危駅 11:40 着 再び車移動 12:15 源流・東祖谷ちいおりトラスト着 (ちいおりトラスト・スタッフと農家さんがお出迎え) ○山の農家さんの食卓体験 (蕎麦米雑炊、芋串焼きほか) ○茅葺き屋根の囲炉裏のある暮らしの体験 (薪割り、火おこし、など) ○畑仕事、里山の散策 18:00 宿泊施設着
2日目	08:00 宿泊施設発 10:00 源流・土佐町着 (有機農家さん、れいほくNPOがお出迎え) ○オープンキッチンの説明、チーム分け ○地元有機農家さんの畑から食材探し収穫 ○水辺の散歩 ○肉類(牛・豚・地鶏)は、地元業者手配 12:00 青空キッチン (雨天時は、れいほくNPO施設内) ○地元の食材を使った料理コンペ (テーマ例: 野菜が美味しいスパゲティ) ○参加者全員で食の交流会 (地元住民も参加) 15:00 土佐町発 16:30 高知龍馬空港着 解散

## 【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】吉野川の源流散策 吉野川の水と緑の豊かな環境は、四季ごとに様々な表情を見せます。途中、大歩危渓谷に係る吊り橋を歩いたり、運が良ければ川漁師から鮎やアマゴが手に入ります。これを携えて、茅葺き屋根の家に向かいます。自分たちでござらえて囲炉裏で焼きます。</p>	 <p>【コメント】茅葺き屋根の家の囲炉裏端 祖谷溪にも数少なくなった茅葺きの家です。アレックス・カーが中心となって保存活動を進めています。静かに煙立ち上る囲炉裏のたもとで、焼いた地芋を食べたり、書をたたりながら、縁側で寝ころんだり、思い思いの時を過ごしてもらいます。</p>	 <p>【コメント】源流の暮らし体験 山々の連なる源流の地は、心地よい風が通りすぎます。斜面の畑を散策しながら、アンデスの原産に似た味の地元の馬鈴薯の収穫を行います(季節限定)。茅葺き屋根のまわりでは、薪割りを体験し、薪で湧かしたお風呂で汗を流します。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】有機野菜の畑の収穫 ツアー主催者からツアー参加者に、青空キッチンの「本日のテーマ」を出します。ツアー参加者は、大地を市場に見立て、自ら畑の中から食材を選んできます。農家さんに手伝ってもらい、野菜の特徴やこだわりなどを聞きながら丁寧に収穫を済ませば、青空キッチンの準備完了です。</p>	 <p>【コメント】こだわりの食材見学 この地域には、酪農家が赤みのうまさこだわって育てている「土佐褐毛牛」、養鶏家が新たな地域の食材として頑張っている「はちきん地鶏」などがあります。ツアー参加者は、牧場を訪ね、酪農の世帯を見学します。これらの食材はあらかじめ地元の流通業者に準備してもらいます。</p>	 <p>【コメント】青空キッチン 自分たちで選んだ食材を、「本日のテーマ」で自ら料理します。美味しい水、美味しい空気、元気な野菜、滋味豊かな食材を、プロたちの技で、美味しい一皿に仕立てます。お互いの料理を品評しながらみんなで楽しみます。これらの食材は、ツアーの参加を通じて、参加者が気に入れば、その後の商取引にも発展させていきます。</p>



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

年 月 日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 西条市役所 観光振興課 所在地 : 愛媛県西条市明屋敷 164 番地 TEL/FAX : TEL0897-47-3575 FAX 0879-53-6200 担当者 : 渡部 泰成 メールアドレス : kanko@saijo-city.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h1 style="color: red;">60</h1>
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
水の都西条市～西条市の水を満喫する～	愛媛県	西条市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
西条市は全国的にもまれな被圧地下水の自噴地帯が広範囲にわたって形成されており 15～20 メートルの鉄パイプを打ち込むだけで、良質かつ豊富な地下水が自然に湧き出します。その自噴水や自噴井は「うちぬき」と呼ばれ、飲料水としての利用はもちろん、数々の利水産業の興隆を促してきました。 本市が「水の都」と呼ばれる所以であり、環境庁（現環境省）の「名水百選」や、国土庁（現国土交通省）の「水の郷」に認定され、平成7年と8年には岐阜県で行われた全国利き水大会で2年連続日本一のおいしい水に選ばれています。		

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 ③. 二泊三日 4. その他 ( )

【旅の目的】 西条の水そのものを味わい、その水の源である石鎚山を体験し、水の大切さと西条市の豊かな自然の素晴らしさを知る。

【実施時期】 春・夏・秋 / (実施時期: 5月～10月)

【催行人員】 20名 (最少催行人員: 5名)

【原価】	32,000 円 (大人1名)	内 訳	
		水めぐりツアー参加料 1,000 円	本谷温泉館宿泊料 (1泊2食) 8,900 円
		石鎚ふれあいの里宿泊料 (1泊2食) 4,000 円	どざくり・くだもの狩り体験 (併用) 3,200 円
		インタープリターガイド料 (2日) 2,000 円	保険料 1,000 円
		登山ロープウェイ運賃 (往復) 1,900 円	
		バス借上げ料 (3日) 10,000 円	

【販売価格】 円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人1名

【子供料金】 有 ( 円/1名 ) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

- 【旅行企画のセールスポイント】
- 日本一おいしい水と、その水の恵みを味わうことができる。
  - 日本でも有数の広さの干潟から西日本最高峰の石鎚山(1,982m) まで2泊3日で海、川、山を満喫できる。
  - 家族や小グループでの参加を前提にした体験型のメニューが豊富
  - 水めぐり案内人やインタープリター (自然観察ガイド) 同行で、安全で楽しく登山や生物観察ができる。

【企画協力 (後援) 機関・団体名/主な役割】

① 西条市観光協会/水めぐりツアーの実施、PR	⑤	/
② 石鎚ふれあいの里/宿泊施設、インタープリターの手配	⑥	/
③ 本谷温泉館/宿泊施設、	⑦	/
④ 西条市グリーンツーリズム推進協議会/くだもの狩り体験	⑧	/

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】

1日目	10:00 鉄道歴史パーク in SAIJO = 水めぐりツアー = 昼食 = 弘法水 = 加茂川・中山川河口干潟 = 石鎚ふれあいの里 (集合場所)	10:30~12:15	12:30~13:30	13:40~13:45	14:00~16:00	17:00
2日目	9:00 出発 石鎚ふれあいの里 = 石鎚山ロープウェイ	9:40	10:00~ 石鎚登山 = 弥山で昼食 = 下山	12:30	13:00~ 下山	15:20 石鎚山ロープウェイ = 本谷温泉館 (宿泊)
			※希望により2班に分かれる			
			10:00~ 成就社周辺散策	12:00~13:00 成就社で昼食	13:00~ 本谷温泉館	
3日目	8:40 出発 本谷温泉 = 周ちゃん広場 = 観光農園で石窯ピザづくりとくだもの狩り体験 = 解散	9:00~9:40	10:00 ~	15:00		

【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

<p>【ポイント1】</p> <p>鉄道歴史パーク in SAIJO</p>  <p>JR 伊予西条駅のすぐ東側にあり、0系新幹線電車、DF501 ディーゼル機関車の実物を展示している「四国鉄道文化館」と第4代国鉄総裁で新幹線計画を強力に推進した、第2代西条市長の十河信二氏の顕彰施設である「十河信二記念館」。そして西条市の観光情報発信基地である「観光交流センター」の3つからなる施設。ここから、水めぐりツアーはスタートとなります。</p>	<p>【ポイント2】</p> <p>水めぐりツアー</p>  <p>西条市は地下水が豊富で古くから「水の都」と称されており、市街地に「うちぬき」と呼ばれる自噴水が各所に見られます。また周辺を気軽に水辺を散策できるよう整備されたアクアトピア水系もあります。これらと西条藩陣屋跡等の史跡を、水めぐり案内人とともにきき水をしながら巡り「うちぬき」の原理や西条市の歴史等について学びます。また、途中の「水都市」では西条市のおいしい水で育った野菜ジュースを飲んで休憩します。</p>	
<p>【ポイント3】</p> <p>弘法水</p>  <p>弘法水は海底から真水が湧き出る不思議な場所です。弘法大師が杖で加持したところ清水が湧き出たという伝説があります。</p>	<p>【ポイント4】</p> <p>加茂川・中山川河口干潟</p>  <p>石鎚連峰を源に瀬戸内海に注ぐ加茂川と中山川の河口干潟は、日本でも有数の広さを有し、数多くの野鳥や干潟の生物が見られます。ここでインタープリター (自然観察ガイド) とともに生物を観察し、河口という特殊な環境とそこに住む生物について学習します。</p>	<p>【ポイント5】</p> <p>石鎚ふれあいの里</p>  <p>緑に囲まれた石鎚山の麓にある、廃校を利用した宿泊施設。キャンプ場やバーベキュー棟も整備され、すぐ下の川は美しい清流で夏には子供たちの格好の遊び場になります。この川でのお魚観察会や昆虫観察会等の自然学習教室やこんにやくづくり、草木染めなど体験教室も充実しており、人気の施設となっています。</p>



【ポイント6】	【ポイント7】	【ポイント8】
<p data-bbox="281 220 400 252">石鎚山登山</p> 	<p data-bbox="667 220 845 252">成就社周辺散策</p> 	<p data-bbox="1113 220 1231 252">本谷温泉館</p> 
<p data-bbox="133 546 549 724">標高 1982mで西日本最高峰を誇り、日本七登山や日本百名山の一つに数えられ、古くから信仰の山として知られています。登山ロープウェイを降りて山頂まで約2時間半。インタープリターと共に植物や地質等を観察しながら、森が水源として果たす役割を学習します。</p>	<p data-bbox="563 546 949 724">体力に自信がない人や、子どもなど石鎚山への登山が難しい人は、登山ロープウェイから、リフトに乗り展望台からの石鎚山や瀬戸内海の眺望を楽しむことができます。また、インタープリターによる成就社周辺やブナ林等の自然観察も行き、森が水源として果たす役割を学習します。</p>	<p data-bbox="964 546 1365 693">古くは舒明天皇や斉明天皇が湯治されたという伝説がある、“伊予の三湯”の一つ。弱アルカリ単純泉で、神経痛や皮膚病に効能があります。燧灘で獲れた魚貝類や地元西条産の野菜にこだわった食事が自慢です。</p>
【ポイント9】	【ポイント10】	【ポイント】
<p data-bbox="267 829 415 861">周ちゃん広場</p> 	<p data-bbox="563 829 934 861">石窯ピザづくりとくだもの狩り体験</p> 	
<p data-bbox="133 1102 549 1302">JA周桑の直販所。安くて新鮮な野菜や果物、米、肉、魚、花などに加え、JA周桑の醸造工場で作られる味噌、醤油や手作りお菓子などが並び、土日はもちろん平日も市内外から多くの買い物客が訪れています。すべての商品に生産者のラベルを貼っており、消費者に生産者の顔が見えることも好評。もちろん、石鎚山系の水で育った野菜の味は絶品です。</p>	<p data-bbox="563 1102 949 1281">西条市丹原町の観光農園を営んでいる8軒の農家で構成された“もぎたて倶楽部”。その中の“四季彩農園”で、採れたての野菜を使ってピザを焼いて食べます。その後は季節の果物(いちご、もも、ブルーベリー、ぶどう、いちじく等)を収穫して食べるすることができます。</p>	



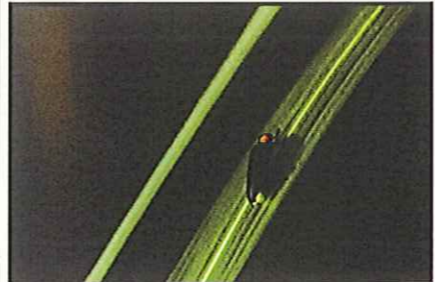
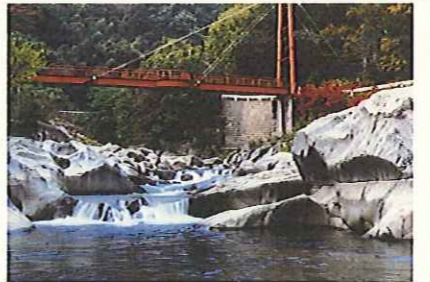




# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年 2月26日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 古湯・熊の川温泉地活性化運営委員会 所在地 : 佐賀市富士町古湯2685番地(佐賀市富士支所産業振興課内) TEL/FAX : TEL0952-58-2860 FAX0952-58-2119 担当者 : (株)佐賀観光協会 温泉地活性化専門員 中原敏博 メールアドレス : nakahara@sagabai.com 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h1 style="color: red;">6 1</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
蜚観賞会/県都・佐賀市を流れる嘉瀬川の源をたずねて	佐賀県	古湯温泉
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 地元の人々の努力で守られている日本の原風景となる棚田や溪流の自然景観と、下流部の灌漑・防災等の対策として建設されている2つのダムとの調和と共存を図った風景を堪能していただく		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )	
【旅の目的】	街の喧騒を忘れ、清水の湧く所に生息するホテルを鑑賞し、また脊振山系に源をもち有明海へ注ぐ嘉瀬川の上流に位置する古湯温泉の「ぬる湯」を堪能し心身ともにリフレッシュしていただく。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 6月)	【催行人員】 名 (最少催行人員: 2名)
【原価】	内訳 6,450~ 21,150円 (大人1名) 古湯温泉旅館宿泊代金(1泊2食・サービス料・消費税・入湯税込み) 宿泊代金は各旅館の2名1室利用時の最低料金(1名) 蜚観賞バスについては古湯温泉旅館組合加盟旅館(13旅館)宿泊者無料	
【販売価格】	円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有 ( 円/1名 ) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
・福岡市(博多駅・福岡空港)より車で三瀬トンネル経由約60分、自然豊かな山間部の静かな温泉地へ。 ・長崎自動車道佐賀大和ICより車で約15分、九州各地からのアクセスも簡単。 ・古湯温泉旅館13旅館にご宿泊の方を蜚の乱舞する生息場所まで無料バスにてご案内。(6月中旬の約2週間) ・蜚観賞地へは古湯温泉より約15分、鑑賞ツアー終了後も源泉温度約39度「ぬる湯」でゆったりできます。 ・古湯温泉は山間部に位置していますが、玄界灘・有明海へ車でともに60分弱、料理は新鮮な山の幸・海の幸ともに堪能できます。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
①	古湯温泉旅館組合/宿泊・送迎	⑤ /
②	佐賀市富士支所産業振興課/広報	⑥ /
③	(株)佐賀観光協会/広報	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	2連泊以上の対応も可能です。	

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	各地→古湯温泉→夕食後蜚観賞ツアー(約1時間)→古湯温泉(泊)	
2日目	古湯温泉→佐賀市富士町地区散策→各地	
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>(ホテル観賞会バスツアー) 古湯温泉旅館組合加盟旅館宿泊のお客様を無料でホテルの生息地に送迎バスにてご案内いたします。蜚を鑑賞する場所は街明かりや民家もない自然の中! 幻想的なひとときをお楽しみ下さい 出発から帰着まで約1時間程度</p>	 <p>(雄瀬雄瀬公園) 古湯温泉と熊の川温泉のほぼ中間に位置し、明治後期まで行われた材木や筏流しの最大の難所である奇岩が折り重なる独特の景観が楽しめます。周辺には雄瀬の滝・御手洗の滝などがあり、マイナスイオンを充分にご堪能いただけます。 古湯温泉より車で5分</p>	 <p>(西の谷の棚田) 日本棚田100選に選定されている西の谷の棚田。5月には田植えも始まり棚田や水路にはおたまじゃくしが元気に泳ぎ回ります。 古湯温泉より車で15分</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>(北山ダム・21世紀県民の森) 21世紀県民の森は佐賀県政100周年記念事業として完成された施設で、21世紀の人間と森林・林業の調和をテーマに北山ダムによって生まれた北山湖一帯に整備されたリゾート型の公園です。貸自転車やダム湖を周回でき、家族で楽しむことのできる遊具もある施設です。 古湯温泉より総合案内所(ほうのき)まで車で15分</p>	 <p>(嘉瀬川ダム・ダムの駅富士しゃくなげの里) 平成23年の完成を目指して建設中の嘉瀬川ダム、ひと足早く平成22年4月完成予定の郷土物産館「ダムの駅富士しゃくなげの里」では地元物産品の販売やレストランでの昼食・現地観光情報の提供はもちろん、ダム建設風景も見学できます。 古湯温泉より車で5分</p>	 <p>(古湯温泉) 嘉瀬川の上流に位置する古湯温泉はアルカリ性単純泉で、泉温も37~39度とやや低く「ぬる湯」として初夏には川のせせらぎと「かじかかえる」の鳴き声を聞きながらゆっくりご入浴いただく事ができます。 地元で採れた野菜などをチーズフォンデュ風にしていただく『古湯フォンデュ』も宿泊・日帰り入浴利用の皆様から好評いただいています。</p>



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月25日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 社団法人 日田市観光協会 所在地 : 大分県日田市元町11-3 TEL/FAX : TEL 0973-22-2036 FAX 0973-22-2444 担当者 : 木下 周 メールアドレス : kinosyu@oidehita.com 登録旅行業 : 第 3-169 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : 44001690001	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h2 style="color: red; font-size: 2em;">6 2</h2>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
「水と森の恵みに感謝」五感で感じる秋の水郷(すいきょう)ツアー	大分県	日田市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 水面に映る風景(明かり・紅葉)を中心に、「水」が育む「食」、「水」上での「舟遊び」、「音」「マイナスイオン」などの特性を活かす。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )	
【旅の目的】	秋の日田市、「水郷(すいきょう)」ならではの水の風情を五感で感じながら、思う存分楽しむこと	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 11月13日(土)14日(日))	【催行人員】 20名(最少催行人員: 20名)
【原価】	内訳	
	18,165円 (大人1名)	遊湖乗船 1,500円 水辺の郷屋食 1,365円 1泊2食 8,550円
【販売価格】	22,700円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有(15,000円/1名)・無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
水郷(すいきょう)日田では、五感で感じる「水」物語が充実しています。そこで秋の風情を感じながら、まさに「水の郷」にいることを実感できるツアーです。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 大山夢工房/水辺の郷おおよまでのランチ	⑤ 天ヶ瀬温泉旅館組合/宿泊対応	
② サッポロビール九州日田工場/工場見学	⑥ 天瀬グリーンツーリズム研究会/柚子胡椒づくり	
③ 筑後川河川事務所日田出張所/朝霧の館見学	⑦ 小鹿田焼同業組合/窯元見学	
④ 千年あかり実行委員会 /着火体験場所設定	⑧ いいちこ日田蒸留所/工場見学	
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	日本で第2番目に長い河川筑後川の上流域に位置する、大分県日田市はまさに「水郷」と書き、「すいごう」とは呼ばず「すいきょう」と呼びます。あえて濁らず呼ぶことで、「清らかな流れ」を讃え、地元人は「すいきょう」という響きに長年愛着を持ってきました。 これを受けて、日田市観光協会は「水と森の恵みに感謝」というブランドメッセージを設定し、これを元に地元にある「イベント」「食」「体験」「景観」「音」等を観光素材として伝えてきました。 そこで、これらの素材をまとめ、五感で感じる水郷日田の水を賛賞にプログラムしました。	

## 【エントリーシート 別紙】

	【行程表】			
1日目	日田駅前集合 (10:00) 朝霧の館見学 (15:20~16:00) 日本で2番目に長い河川、筑後川の概要を知り、中ノ島突端から眺める、水郷の代名詞とも言われる三隈川の霧気感を堪能。	松原ダム遊湖乗船 (10:40~11:40) ダム湖(梅林湖) 渓谷の川面に映える紅葉を体験。 千年あかり点火体験 (16:30~17:00) 夕暮れ時、暮れなずむ古い町並みと、花月川沿いに設置した、竹灯籠に明かりをとす体験。川面に映る明かりを堪能。	水辺の里おおよま<昼食> (12:20~13:20) 水に恵まれたこの地域は、「少量た品目の旬の野菜が味わえる。」地元産地を使ったランチバイキング。 千年あかり(豆田町)自由散策<夕食フリー> (17:00~19:30) 花月川と、古い町並みの豆田町の中に約3万本の竹灯籠がともる風情と、ご当地グルメスタジアムでの夕食(自由)	サッポロビール工場見学 (14:00~15:00) 日田の水で出来るビールの工程を知り、出来立ての美味しいビールが堪能できる。 天ヶ瀬温泉旅館(宿泊)1日目終了(20:00) 別府・由布院と並び称される、豊後三台温泉の一つで、玖珠川のせせらぎを感じながら、露天風呂(川湯)入浴は、この土地ならではの楽しみ方。
2日目	起床・朝食・天ヶ瀬温泉自由散策(10:00) 別府・由布院と並び称される、豊後三台温泉の一つで、玖珠川のせせらぎを感じながら、露天風呂入浴などご自由に 天瀬持ち寄りバイキング<昼食> (12:00~13:00) 前段と同じく、天瀬グリーンツーリズム研究会のメンバーお手製による、地元産材99%の料理の持ち寄りバイキング約20品	天ヶ瀬旅館集合 (10:00) 小鹿田焼 (14:00~15:00) 日本の音風景100選にも選ばれた場所。水の流れを利用した唐臼の音が里にこだます。	慈恵の滝 (10:20~10:40) マイナスイオンを感じる。滝の裏にも回廊がありちょっとした散策コース。 いいちこ日田蒸留所 (15:30~16:00) 日田の水を使った、本格焼酎の製造工程を見学。テイスティングもあり。	柚子ごしよう作り体験 (11:00~12:00) 天瀬グリーンツーリズム研究会に裏にも回廊がありちょっとした散策コース。→よる、この時期限定の「柚子ごしよう」作り体験。 日田駅前(解散) (16:30)

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】 	【ポイント2】 	【ポイント3】 
【コメント】「松原ダム 遊湖」 松原ダムの乗船場を出発し、両岸に迫る渓谷を眺めながら野手あふれるクルージングが楽しめます。この時期は、紅葉も楽しむことが出来、川面に映る景色も最高。	【コメント】「水辺の郷おおよま」 「一村一品運動」発祥の地とも言われる、大山町にある施設。大山をはじめとした日田地域の新鮮・安心・安全・環境に配慮した食材を使用。バイキング形式。	【コメント】「サッポロビール九州日田工場」 豊かな森に育まれた良質の地下水を100%使用して、コク、香り、苦味のバランスのとれたおいしいサッポロビールを造っている。サッポロビールの「おいしさ」が生まれる工程を見た後は、できたての生ビールを無料で試飲できる
【ポイント4】 	【ポイント5】 	【ポイント6】 
【コメント】「朝霧の館」(筑後川河川事務所日田出張所) 筑後川の資料室などがあり、筑後川の概要をわかりやすく説明する、いわば川のコミュニティスポット。また、朝霧の館のある、中ノ島の突端から見る三隈川の景色は他所には無い絶景。	【コメント】「千年あかり」 国指定重要伝統的建造物群保存地区「豆田町」の町並みと、花月川沿いに約3万本の竹灯籠が設置される夜祭。特に、川面に映る景色は幻想的。併設される「ご当地グルメスタジアム」も大盛況。地元野菜の即売や、地元産材を活用したグルメなど盛りだくさん。	【コメント】「千年あかり」(ご当地グルメスタジアム) 日田人気B級グルメ「日田やきそば」スタジアムを始め、地元の食材を活用した、鍋や寿司、バーガーなど約50ブースが出演。毎年大好評の企画。



【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など） 】		
【 ポイント7 】	【 ポイント8 】	【 ポイント9 】
 <p>【コメント】天ヶ瀬温泉 別府・由布院と並び称される、豊後三大温泉の一つ、天ヶ瀬温泉。玖珠川沿いの露天風呂（川湯）は、せせらぎの音を聞きながら開放的な温泉。大村益次郎も入湯したとされる、その名も益次郎温泉などもある。</p>	 <p>【コメント】「慈恩の滝」 2段落としの滝。滝の裏側に遊歩道があり十分に滝を楽しめます。「天瀬六瀑」のひとつ。滝の裏には回廊があり、散策も可能。写真スポットにも最適。</p>	 <p>【コメント】「柚子ごしょう作り体験」 この季節限定の「柚子ごしょう」を自分で作ることが出来る。地元の秘伝の作り方なども聞いてみよう。</p>
【 ポイント10 】	【 ポイント11 】	【 ポイント12 】
 <p>【コメント】「天瀬持ち寄りバイキング」 天瀬グルメ研究会のメンバーが、「99%」地元産と誇る素材、地元にはかない料理の仕方（食べ方）などが堪能できる。品数は約20品目。</p>	 <p>【コメント】「小鹿田焼の里」 日本の音風景100選に選ばれた、窯元の里。バーナード・リーチも滞在したことで、陶器の風合いのみならず、里の素朴な雰囲気も日本内外に知られるところとなった。 江戸時代から続く手法を今も守り続ける貴重な民芸品。一子相伝、職人氣質の焼物は、国の重要無形文化財に指定されている。</p>	 <p>【コメント】「いいちこ日田上流所」 本格焼酎の製造から貯蔵までをご覧頂くことが出来る。 所内の自然の中を散策したり、試飲ショップでテイステイングも。</p>



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

年 月 日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 北きりしま田舎物語推進協議会 所在地 : 小林立市大字細野300番地 小林立市役所商工観光課内 TEL/FAX : TEL 0984-22-3020 FAX 0984-22-4177 担当者 : 壹岐博彦(事務局長) メールアドレス : k_syokan@city.kobayashi.lg.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h1 style="color: red;">6 3</h1>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
霧島の湧水めぐりと農家民泊田舎物語ツアー ~霧島山系が育む“湧水”の魅力と田舎暮らしを満喫する旅~  【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 北きりしま地区は霧島国立公園の北東側で宮崎県内では有数の大淀川、川内川の上流部に位置し、“湧水の里”として知られている地域である。霧島連山の過去30年の年間平均降水量は4,400mmと全国平均を大きく上回り、火山帯特有のミネラル分を豊富に含んだ良質の湧水が多い。特に小林立市の上水道はすべて“湧水”でまかなわれ、市内の湧水箇所数も70ヶ所以上と豊富である。	宮崎県	北きりしま地域 (小林立市、えびの市、高原町、野尻町)

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )

【旅の目的】 霧島山系の豊かな湧水と大地、そしてそこに息づく農家の暮らしにふれながら、自然や生き物と人の暮らしのつながりを感じていただく。大地の恵みと農家の営みが育む食に感謝するとともに、人の温かさにふれ心なごむひとときを味わい旅の思い出を演出する農家民泊を体験していただく。

【実施時期】 春・夏・秋・冬 (通年) / (実施時期: ) 【催行人員】 30名 (最少催行人員: 20名)

【原価】	内 訳	
	農家2泊6食付(宿泊+体験+食事) 12,000円 体験料全般(インストラクター代、保険、湧水案内用バス代、事務管理費等) 6,900円	18,900円 (大人1名)

【販売価格】	円	【子供料金】	有 ( 円/1名 ) ・ 無
(旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名	(旅行業登録のある場合のみ記入)	

【旅行企画のセールスポイント】

- 霧島山系の麓の湧水と肥沃な土と共に暮らす農家での農作業や暮らし体験は、水と土のつながりと食(食育)の大切さを実感できる。
- 湧水の専門インストラクターがご案内。飲用できる良質な水や水量の話など、豊富な話を聞くことができる。
- 5月下旬~6月上旬に開催される名水百選の出の山湧水での出の山ホテル恋まつりでは、期間中数万頭のホテルが乱舞し見応えあり。
- 60cmの大型望遠鏡を備える天文台ではスケールの大きい星空観察を楽しむことができる。過去5回選定「星空日本一の里」としての水と大地は、自然環境の美しさの証明である。
- 春は牧場の桜と菜の花、秋はコスモスと霧島連山の麓を彩る様は見事。夏の「名水まつり」に「秋まつり」は市あげての一大イベント。
- 高速道路の料金減額と併せ、福岡(3時間弱)をはじめとする熊本、鹿児島等の都市圏域からもアクセスしやすい。
- 平成23年九州新幹線鹿児島乗り入れによる活用

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

①小林立市役所商工観光課 / 誘致活動、広報	⑤小林立市観光協会 / 体験(ガイド要請含)紹介
②えびの市市役所観光商工観 / 誘致活動、広報	⑥えびの市観光協会 / 体験(ガイド要請含)紹介
③野尻町経済課 / 誘致活動、広報	⑦ /
④高原町まちづくり推進課 / 誘致活動、広報	⑧ /

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】

- 健康調査(食事、睡眠、生活習慣等)の実施。申込者宛に事前に調査票を送付し健康面全般に関する情報を収集する。
- インストラクター養成講座を開催。お客をもてなす心構えと受け入れや送りの際のスキル向上を図る。
- 安全面を確保するため、病院、消防、警察等の関係部署と連携し(農家、事務局を含めた連絡網の作成を含む)、緊急事態に備える。
- 体験ツアー後、アンケートを実施し、以降のツアーに活かす。
- 雨天時も実施。別途スケジュールのもと雨天ならではの内容を組む。

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】				
1日目		12:30 小林立市「名水ホテル館」集合 受付 ・オリエンテーション(はじめの会) 14:00 各農家へ移動 14:30 各農家での体験プログラム (散策、農作業体験、田舎料理作り等)	18:30 夕食、団らん (※19:30 小・中・高生の場合、天文台にて星空観察 ……60cm望遠鏡) 21:30 農家着 22:00 就寝	
2日目	6:30 起床 7:30 牛舎にて餌やり (牛の飲水は湧水利用) 8:00 朝食 後片付け 9:30 ホテル館集合 日程説明 諸注意等	10:00 湧水ツアー出発(昼食:田舎弁当) (小林立の湧水群70箇所中7箇所案内) ①小千谷湧水:小林立湧水群最大の湧水量 (日量8~10t) ②小林立駅裏公園:自噴水で高さ3m吹き上げる ③出ノ山公園:小林立の湧水群で最も親しまれている ④熊迫湧水群:水路のいたる所から湧き出す。日量7万t ⑤大出水湧水:九州を横断する唯一の水路(大淀川と川内川を持つ湧水) ⑥大出水湧水の水路が大淀川と川内川に流れ出し、水が下流でなく上流に流れる様に見える不思議な水路 ⑦向江田湧水:田んぼの中にあり砂を巻き上げながら湧き出る湧水らしい湧水(セリやクレソンの繁殖)	15:30 ホテル館着 ふりかえり 16:00 各農家へ移動 16:30 食材調達(買物)、夕食準備 18:30 夕食、団らん 22:00 就寝	
3日目	6:30 起床 7:30 牛舎にて餌やり、清掃 8:00 朝食 後片付け 9:00 各農家での体験プログラム (散策、農作業体験等)	11:00 食材調達 昼食準備 12:00 昼食 13:20 ホテル館集合 13:30 お別れの会(ふりかえり、挨拶) 14:30 解散	 	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】 昭和60年名水百選に選定された小林立市の湧水群の中で最も親しまれている湧水で湧水量は日量7~8万tと豊富。江戸時代より続く鯉の養殖は有名。水温が一年を通して17°前後と安定していることからチョウザメの養殖も行われている。周囲1kmの池は、5月下旬~6月上旬にかけて数万頭のゲンジボタルの群舞の観賞を楽しめる。湧水場所では、年間を通して市内・外からタンク等を片手に取水する人々で賑わう。</p>	 <p>【コメント】 三ノ宮峡の下流2kmの地にあり、約30万年前の火山噴火による、火砕流の名残。溶結凝灰岩を水の浸食により出来た「男岩」水面より高さ17.5m「女岩」5.5mの夫婦岩、男女和合と子宝、安産の神として祀られる。「伝説では、龍が絶世の美女を見初めて天より下りて来て岩になった。」と伝えられている。</p>	 <p>【コメント】 溶結凝灰岩を水の浸食によりできた峡谷。「全国遊歩道百選」「全国音風景百選(檜の轟、7.3mの滝)」「歩きたくなる遊歩道五百選」に選定される景勝地。春は照葉樹林の新緑や「オオルリ」「ヤマセミ」に心奪われ、夏は貴重な遊泳場としても親しまれている。秋は珍しい「キノコ」等も見られる。1.2kmの遊歩道には、手掘りのトンネルが11ヶ所(最長50m、最短8m)あり、最終11番トンネルの上部には、川よりの高さ22mの石橋のアーチ部分には全国的にも珍しい竹を使った竹筋コンクリート橋で名前も「橋満橋」と呼ばれている。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】 南に高千穂峰等、霧島連山を見上げ、北東側に小林立盆地、遠くは九州山地の山脈を見すえる標高500mの公園。園内にはロバやうさぎ等小動物とふれあえるコーナーが設けられ、親子連れに人気のスポットとなっている。この牧場から望む絶景から「小林立のグランドキャニオン」とたとえられるほど。近くにはひなもりオートキャンプ場もあり、春から秋にかけて賑わう。</p>	 <p>【コメント】 霧島連山の奥野岳(生駒富士)の麓に広がる標高500m、広さ15haの公園には、春は菜の花とポピー、秋はコスモスの花で彩られ、まさに高原の花園で、毎年およそ15万人の観光客が訪れる。隣には九州最南端のりんご園があり、夏から秋にかけてりんご狩りを楽しめる。</p>	 <p>【コメント】 霧島屋久国立公園の代表的な観光地。高原の標高は1,200mと避暑地としての魅力を持つ。6月には「ミヤマキリシマ」の群生が高原をピンク色に染め、天然記念物の「ノカイドウ」の可憐な白さに心奪われる。秋は「えびの」というこの地の名前の由来にもなったえび色のススキがあたり一面に広がる。紅葉と共にトレッキング客が大勢訪れる。</p>



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

22年2月26日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 熊本市 所在地 : 熊本市手取本町1番1号 TEL/FAX : TEL 096-328-2072 FAX 096-324-1713 担当者 : ブランド推進室 杉本幸生 メールアドレス : sugimoto.yukio@city.kumamoto.lg.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h1 style="color: red;">6 4</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
奇跡の地下水都市・熊本めぐり/阿蘇と清正のウォーターパワーをあなたに!	熊本県	熊本市およびその周辺
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 ・自然(阿蘇火山)と人間(加藤清正等)が作り上げた「日本一の地下水都市」の仕組みと成り立ちそのものと、これらを守る活動。 ・治水の神様・加藤清正ゆかりの水のスポット。 ・良質な地下水と、水が育む食文化。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( )	
【旅の目的】	・水循環と水保全について学ぶ ・水と人間の多様な関わりである「水文化」について学ぶ ・自然景観、食、地域の歴史など観光を楽しむ	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・ <u>通年</u> / (実施時期: )	【催行人員】 20名 (最少催行人員: 20名)
【原価】	内訳 貸し切りバス(中型)2,500円、昼食2,000円、宿泊12,000円(夕食付き、飲み物別別)、施設入場料400円、ガイド費用1,000円 ※熊本までの交通費含まず	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 ( 円/1名 ) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
熊本市は水道水源をすべて天然地下水で賄い、人口50万人以上の都市では我が国唯一で、日本一の地下水都市といわれる。そのスケールの大きい水循環は、阿蘇火山と加藤清正の合作によるものです。400年の時を超えて今も熊本に息づく「治水の神様」清正ゆかりの水の緑地も旅します。多様な水文化「熊本水遺産」*が密集する九州ど真ん中のフィールドを、地下水の流れに沿って、地元の水のプロフェッショナル「くまもと水守」**をお供に旅するプランです。見て歩いて、飲んで食べて、熊本の水文化の粋を存分に味わっていただきます。奇跡の地下水都市・熊本で「水」の感動をお約束します。 ※外国人にとっても、国立自然公園(阿蘇)、日本の近世城郭(熊本城)、日本庭園(水前寺成趣園)など、水を中心に構成日本の自然・歴史・文化を体験できるプランになっています。 ★特典: 熊本パワーウォーター「清正水物語」500mlペットボトル1本、熊本城入場券、おやつに熊本名物「いきなりだご」1個、日本初の熊本名産ふりかけ「ご飯の友」1袋、熊本水遺産マップ1部、湧く湧く都市くまもとハンカチ1枚		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 熊本国際観光コンベンション協会 / 運営協力	⑤	/
② くまもと水守 / ツアーガイド	⑥	/
③ /	⑦	/
④ /	⑧	/
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	*「熊本水遺産」は、水の風土と文化を後世に伝えることを目的とした熊本市独自の制度です。現在60件。 **「くまもと水守」は、水保全や水の魅力PRの活動を行なう人材を「水守(みずもり)」の愛称で登録する熊本市独自の制度です。ガイド水守など現在約130名が登録している。	

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	午前10時出発 【阿蘇外輪山】(依山展望台)→白川中流域の清正の水利施設群【瀬田下井手、水田地帯、鼻ぐり井手】→(昼食: タイピーエン)→【健軍水源地】→【水前寺成趣園・江津湖】→(ホテル・夕食: 細川御膳と熊本の銘酒)	
2日目	午前9時出発 【熊本城(治水事業(川の分流・付け替え跡)、熊本城の井戸、天守閣、本丸御殿、加藤神社)]→(昼食: 熊本ラーメン)→解散	
3日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
【阿蘇外輪山】生きた教材、地下水のジオパーク  水守ガイド	【鼻ぐり井手ほか】必見! 土木の神様の真骨頂  水守ガイド	【健軍水源地】日本最大級の井戸のパワー  水守ガイド
世界有数のカルデラ火山・阿蘇が育む地下水 【コメント】阿蘇外輪山から約20年をかけて旅をする熊本の地下水。水循環の旅の出発点である、外輪の展望台に立つと、日本有数の地下水を育む熊本の大地が一望できる。生きた教材が眼前に広がり、約27万年前から9万年前にかけての阿蘇のダイナミックな火山活動と、熊本の地下水の成り立ちとの関連を水守がガイド。日本でも稀な地下水のジオパークが体験できる。	清正が作った水田が地下水を育む、その水利施設群 【コメント】治水の神様・清正の土木事業の白眉ともいえる施設。熊本は阿蘇の火山灰土壌のため用水路に泥が溜まりやすい。鼻ぐり井手は、土砂吐きさせながら用水を流す仕掛け。400年経った今も機能している。清正はじめ先人の水への執念が今なお眼前から迫ってくる印象だ。清正が開発した白川中流域の水田からは大量の水が浸透し、地下水になり、健軍水源地(ポイント3)や江津湖(ポイント4)に流動する。清正抜きに熊本の地下水は語れない。	神秘的な青さに驚く。直接試飲もできる。 【コメント】ダムも浄水場もない地下水100%の熊本市。健軍水源地は市最大の水源地で、平成の名水百選「水前寺・江津湖湧水群」の一つ。11本の水源井のうち5号井は日本最大級の井戸。日量1万4千m3の清冽な地下水が海のような音を立てて湧き上がる。この1本の井戸で数万人を養える。阿蘇外輪から20年、清正開発の水田から5年を経て磨かれた水。ここを見れば地下水都市・熊本がたちどころに理解できる。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
【水前寺成趣園・江津湖】肥後細川家大名庭園  水守ガイド	【水の食文化】飲み倒れて熊本  水守ガイド	【熊本城】天守の手前が本丸御殿  水守ガイド
熊本市最大の湧水地・江津湖 【コメント】加藤家のあと肥後を治めたのは細川家。初代藩主細川忠利から3代かけて築造した水前寺成趣園は、湧水がつくる澄んだ池泉が特徴。回遊式庭園なので、散策すると庭の風景が変化するので楽しい。園内には名水「長寿の水」があり、やわらかい熊本の地下水が味わえる。南に歩くと熊本市の水のシンボル・江津湖に着く。加藤清正が作ったという人工の湖で、熊本市最大の湧水地である。「日本の重要湿地」に指定されている。	お殿様が食べた細川御膳と熊本の銘酒 【コメント】肥後細川家の料理メニューを復活。お殿様気分での食事を堪能。清冽な地下水で育った各食材を御膳で堪能。そして熊本はビール・日本酒・焼酎・ワインすべて地元で生産される珍しい地域。地下水都市ならではの食文化。飲み倒れていただきたい。酔い覚ましのお風呂の水もすべてミネラルウォーターです(ペットボトル換算4万円相当)。※昼食のタイピーエン・熊本ラーメンもスープが命。水が味を左右します。	熊本城の井戸、地元では清正公井ともいう 【コメント】司馬遼太郎が日本一の防衛力をもつ城と評した城。清正は籠城に備えて120本の井戸を城内に掘ったとされるが20本近くが現存する。本丸の井戸は深さ40mに達し、覗くと吸い込まれるようである。清正も覗き込んだに違いない。築城と併せて、周辺の治水利水工事を大規模に実施。現在の熊本市を形づくった。城内の加藤神社は清正が祭神。武運・治水のご祈願をどうぞ。



# 【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 02 月 26 日

<b>【応募者】</b> 団体名 : 南阿蘇村旅案内人協会 所在地 : 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽 637 TEL/FAX : TEL 0967-67-0142 FAX 0967-67-0589 担当者 : 事務局 柝原 威 寿 メールアドレス : eco-syst@magma.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄  (記入不要)  <h2 style="color: red;">6 5</h2>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
水の生まれる郷への旅 『水と生きる里のくらし』を訪ねて	熊本県	阿蘇郡 南阿蘇村
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 清らかな泉で生まれ、くらしに生き、エネルギーの源となり、日本人の感性の源となる、「水」。南阿蘇村には水の力を敬い生かす知恵が受け継がれています。この水とともに生きるくらしを体感していただきたいと思いながら暮らしに生きる水を訪ねることに致しました。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ( 1泊 又は 2泊程度のアレンジが可能です )	
【旅の目的】	水に出会い、日本の水を知る。水が生まれ、土地を潤し、生き物を育て、はぐくみながら流れる旅をたどることで水の大切さを知り、ひいては自然環境を守る事の大切さを実感してほしいと考えています。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 季節に合わせて実行)	【催行人員】 15名 (最少催行人員: 5名)
【原価】	内 訳 宿泊費 6,000円~15,000円程度 ボランティアガイド料 1日3,000円 交通費 3,000円 (1日あたり) その他 (昼食代、神楽見学科、温泉入浴料など)	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 ( 円/1名 ) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
熊本県は日本の名水100選に選ばれた湧水が4箇所もある日本でも有数の水の郷です。特に南阿蘇村には白川湧水群と呼ばれる沢山の泉があります。この豊富な水は阿蘇の山々に降った雨が長い間地中深く磨き上げられたものです。このコース中には毎分120tもの湧水量を誇る竹崎水源など、気軽に立ち寄ることの出来る、しかもそれぞれ特徴のある美しい泉がいたる所にあります。南阿蘇村の子供達は、幼いころから小魚を釣り、沢蟹を追いかけ、くらしとともにある美しい水と親しんできました。この子供達の都会では決して味わうことのできない貴重な経験を、童心にかえって (できれば親子で) 楽しんでもらいたいと思っています。もう一つのテーマは (クリーンエネルギーである水力発電などを通して) 水の力が私たちの生活に無くてはならない物であることを再認識していただき、再発見していただくことも併せて、旅のコースと致しました。世界有数のカルデラを誇る阿蘇に来て、「水のふる里を訪ねる」という新しいテーマを持った旅の形は、旅慣れた、けれど素朴で新鮮な感動を求めておられるであろう 旅人向けの、けっして「ありふれた観光」ではないコースになると考えております。私たちの大事なふるさと・南阿蘇村で、楽しく、美味しく、ちょっとホッとする旅をお楽しみ下さい。		
【企画協力 (後援) 機関・団体名/主な役割】		
① 南阿蘇村 / 村としての全面的後援	④ 南阿蘇村商工会 / 特産品・食材の斡旋・支援	
② (財) 阿蘇地域デザインセンター / 対外へのPR支援	⑤ 南阿蘇村野外活動協会 / トレッキングが'イト'派遣・支援	
③ 南阿蘇村観光協会 / 受け入れに関する支援	⑥ NPO法人・ふるさとの夢と文化を育てる会 / 企画の立案・広報	
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	①水をテーマとしての旅は1泊コースから3泊程度の旅は提供できる 例: 湧水地巡り、温泉巡り、水路 (井出) 巡り等 ②食事は地元で採れた農作物を中心に熊本 (阿蘇) 独特の“赤牛”料理を堪能できます ③温泉の数も多く温泉のハンゴも可能です	

# 【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1	各地・・・熊本空港 (駅) == 俵山展望台 == 南阿蘇村・あそ望の郷 (屋敷) == 白川水源 (休憩) == 久石 == 南阿蘇村旅案内人協会のガイドがお迎え、ご案内 → 10:00 俵山を越えて阿蘇へ 11:00 (オリエンテーション・昼食) 13:00 ~ 13:30 清水峠 (峠までトレッキング、南阿蘇の絶景を存分に)・竹崎水源 (親子で水遊び) == 保木下井手 (治水の歴史を見ていただきます) == トレッキング、山歩きの専門家が、食べる山野草の楽しみ方を教授しつつ竹崎水源まで・・・水源地は野生のクレスンを探取、持ち帰り夕食の材料とします。 14:00~ 15:30 15:40 ~ 16:40 宿泊施設へ (野草料理体験・夕食・休憩)・・・長野岩戸神楽 (夕食後、阿蘇の火の神と水の神をたたえる夜神楽見物へ)・・・村内の温泉旅館・ホテル 宿泊 採集した野草とクレスンで作る特別料理をどうぞ 阿蘇の山歩きや伝説と道祖の神話の世界へ 南阿蘇村は泉も豊富、様々な温泉の里でもあります 17:00 ~ 19:40 20:00 ~ 21:00 21:30	
2	阿蘇山に降った雨が地下水となり、一部は温泉または伏流水となり、1部は各地の泉に湧き出し、深谷を形作り、発電所を動かす大河となって行く水の旅をたどります。 宿出発 == 阿蘇山中岳火口 (火口と旧火口見学) == 吉岡噴気口 (2003年に出来た蒸気噴気口です) == 夜峰山頂・・・電門伏流水・・・ 火口の湯だまりが温泉のルートかも? 蒸気の噴き出す現場へ 南郷谷を五岳側から展望 地中の川が一瞬だけ顔を見せてくれるところ。 8:00 08:30 ~ 9:30 10:00 ~ 10:30 11:00 11:20 ~ 11:40 地獄・垂玉温泉 (屋敷) == 立野火口淵 (粘りの滝・北向深谷) == 立野発電所 (巨大な導水管と発電装置を見学します) == 南阿蘇を代表する秘湯です 四季を通じて見事な深谷美を楽しめます 『産業の里』を1日も休まず作っている現場です 12:00 ~ 13:30 14:00 ~ 15:00 15:10 ~ 16:00 白川本流と 加藤清正のはなぐり井出 == 熊本空港 (駅)・・・各地 400年前に考案された用水路・知恵の結晶です 16:40 ~ 17:00 18:00	

【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
<b>【ポイント1】白川水源</b>  <p>日本の名水100選に選ばれた、熊本を代表する泉です。澄み切った水が底の砂を吹き上げながら湧き出す様子はいつまでも見飽きることがありません。毎分60tの湧水量を誇る水源は水の神様をお祭りにするにふさわしい野趣があります。湧き出した水は左右に分かれて白川へと流れて行きます。</p>	<b>【ポイント2】親子で水遊び</b>  <p>湧水量は白川水源の2倍の毎分120t!! うれしいことに水深は50センチ程度で、童心に戻って水遊びを楽しんでいただくには最高の条件を満たす安全な泉です。湧き出したばかりの清らかな水に膝まで浸かって遊ぶ至福の一時を、出来るなら親子で楽しんで下さい。</p>	<b>【ポイント3】治水の歴史を見る</b>  <p>竹崎水源からすぐの琵琶首井出の取水口です。南阿蘇村には保木下井出など治水事業により農業用水として網の目のように水路が流れています。江戸のはじめから先人たちの努力の結晶が現在、オアシス米に代表される美味しい米を育てているのです。</p>
<b>【ポイント4】クリーンエネルギー</b>  <p>阿蘇谷から合流する黒川に設置された黒川発電所の巨大な導水管です。(九州電力の水力発電所で3基の大型発電機が回っています。)日本の近代化に大きな役割を果たし、現在も現役の深い深谷で、写真の粘りの滝のほかに、数階層の滝、戸湯壁 (約2~5mおき、厚さ約1m、高さ4m) として屏風物井出に取水口を開いています。南阿蘇村には、このほかに白川第2発電所などクリーンエネルギーを生み出す発電所が活躍しています。</p>	<b>【ポイント5】立野峡谷</b>  <p>自然の力の偉大さを目の当たりにできる美しい深谷です。南郷谷を流れる白川本流に阿蘇谷を流れてきた黒川が合流する立野峡谷で、写真の粘りの滝のほかに、数階層の滝、戸湯壁 (約2~5mおき、厚さ約1m、高さ4m) として屏風物井出に取水口を開いています。また深谷内には戸下キャンプ場もあって子供達の歓声が響くこともあります。</p>	<b>【ポイント6】鼻ぐり井出 (はなぐりい)</b>  <p>熊本城築城を行った加藤清正は、在位15年の間に多くの土木事業も行っています。構造は、岩盤を掘削する際に岩を削りながら掘り進めたもので、その下に半円形の直径約2mの水流穴 (鼻ぐり穴) をくり抜いたものです。火山灰の堆積を防ぐ見事な工夫で清正の天才ぶりがしのばれます。</p>